

二条城

大城 秀静

(2019 年度入学 鈴木ゼミ 3 期生)

私は和歌山県出身だが、大学に入学するまで同じ関西の京都には数回しか訪れたことがなかった。私の好きな京都と言われても、そこまで京都について知らない。京都といえば歴史的建造物金閣寺や清水寺などをはじめに思い浮かべる。それ以外で思いついたのが二条城である。二条城は寺社仏閣と同じくらい歴史的に重要で、京都を象徴する建造物の一つである。ここでは、二条城の歴史や建物の特徴について話していきたい。

＜二条城の歴史＞

まずは、二条城の歴史についてだ。日本の歴史書の中で二条城と言われるものは複数存在するが、今回は現存する二条城についての話をする。二条城は徳川家康が 1603 年に京都御所の守護と将軍の上洛時の宿泊所として建設した平城であり、徳川幕府の京都における拠点となった。将軍不在時には、江戸から派遣された武士、二条在番によって守られていた。徳川家康と豊臣秀頼の会見場所になった。三代将軍家光の時代には、後水尾天皇行幸のために大規模な改修が行われた。豪勢な城で天皇を迎えることによって、江戸幕府の支配の安定を世に知らしめた。1864 年には十五代将軍慶喜が二の丸御殿の大広間で大政奉還の意思を表明した。1994 年にはユネスコ世界遺産に登録された。建築から約 400 年経った現在でも桃山文化を感じることができ、非常に重要な歴史遺産であるといえる。



＜建物や庭園の特徴＞

次に二条城内にある、有名な建物などについて紹介する。最初は二条城の正門の東大手門である。この門は 1662 年頃に建築されたと考えられている。築城当時は現在と同様に二階建てだったが、寛永の行幸時には天皇を二階から見下ろさないように一階建てに建て替えられてと言われている。本丸御殿と二の丸御殿、それに付随する庭園がある。二の丸御殿は国宝に指定されており、遠侍、式台、大広間、蘇鉄の間、黒書

院、白書院の6棟が立ち並ぶ。それぞれの部屋が豪勢に装飾されており、将軍の威厳を示す虎や豹など、狩野探幽ら狩野派の障壁画が多く存在する。現在この建物内で展示されている障壁画は模写であるが、同じ二条城内の展示収蔵館で原画を鑑賞することができる。また、床がうぐいす張りで、音が出ることによって敵の侵入に気づくことができる。二の丸庭園は1626年に後水尾天皇の行幸時に改修されたものである。また、二の丸御殿の正門である唐門は重要文化財に指定されている。門の特徴としては、豪華絢爛で極彩色の彫刻で装飾されていることである。二の丸御殿内は現在も見学することができる。

一方、本丸は1893年に京都御所の北東部にあった桂宮御殿を移築した物で、徳川家と何も関係の無い。過去には期間限定で公開されていたが、現在（2021年）は耐震補強工事中であり、内部を見学することはできない。本丸も二の丸と同様に庭園があり、1896年の明治天皇の行幸時に枯山水庭園から改造した庭園である。

先ほど紹介した二つの庭園以外にも清流園と呼ばれる庭園がある。この庭園は京都の豪商・角倉家の屋敷跡から建築部材、庭石、樹木を譲り受け、1965年に造られた。日本風の建物などがある和風庭園と芝生の洋風庭園を組み合わせた和洋折衷となっている。また、二条城は現在、天守閣は存在していない。かつて、伏見城から移された物が存在していたが1750年に落雷によって焼失した。それから今まで再建されることは無く、石垣のみが天守閣跡として存在している。



＜現代における二条城＞

現在、二条城は世界遺産に登録をされ京都を代表する観光地の一つとなっている。2015年に訪れた観光客数は約170万人である。これは日本の全ての城の中でもトップ3に入る数字である。多くの人が訪れている理由は、二条城は桜が綺麗なことで有名であることが一つの理由であると考えられる。桜は日本を象徴する樹木であり、海外から訪れる観光客もそれが目当ての人もあるだろう。また、春には桜や庭園がライトアップ

ブされるイベントが開催されている。二条城は京都の中で、現在も江戸文化を感じられる建物である。この日本が世界に誇れる建築物を私たちが責任を持って守っていく必要がある。

<参考文献>

世界遺産 元離宮二条城 H P <https://nijo-jocastle.city.kyoto.lg.jp/guide/>
京都市情報館

<https://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/cmsfiles/contents/0000205/205471/03gaiyou.pdf>

京都府 H P <http://www.pref.kyoto.jp/isan/nijyoujo.html>